

経営比較分析表

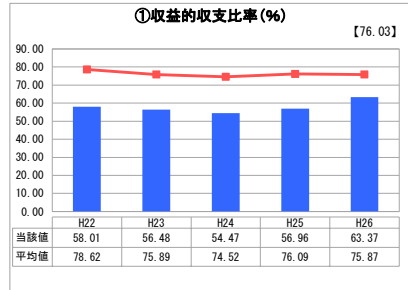
愛知県 西条市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.08	3,008

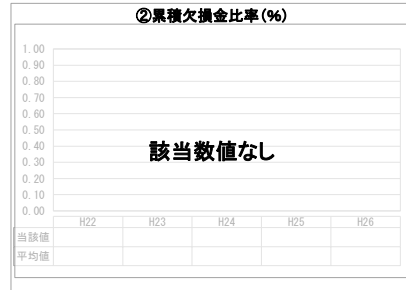
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
112,959	509.98	221.50
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,678	11.99	306.76

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

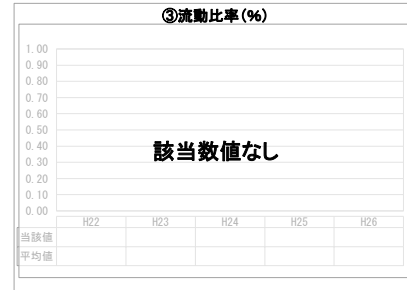
1. 経営の健全性・効率性



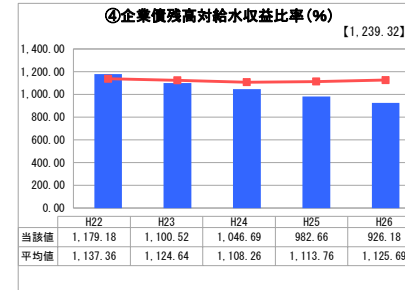
「単年度の収支」



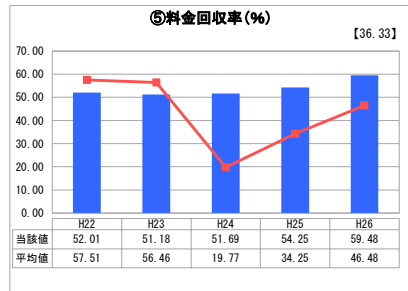
「累積欠損」



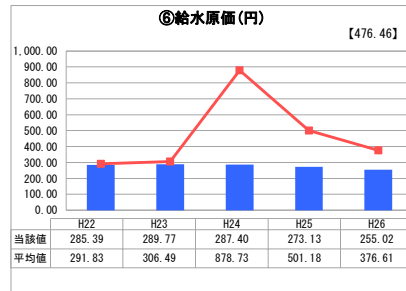
「支払能力」



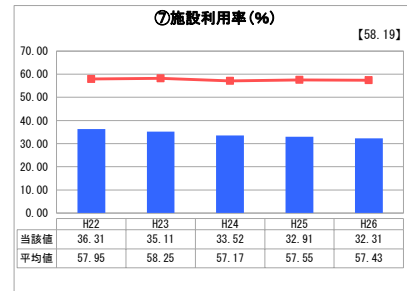
「債務残高」



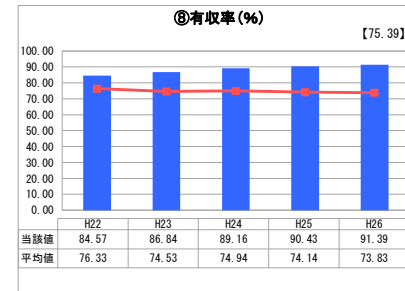
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

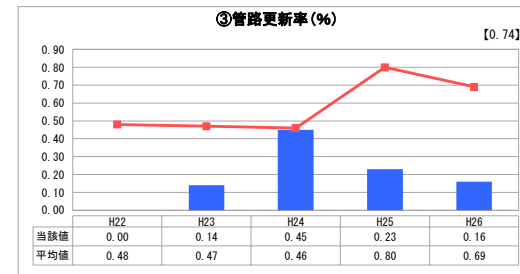
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

簡易水道事業は上水道事業に比べ規模が小さく、一般的に効率的な経営をすることが困難な場合が多い。当市においても、上水道事業と比較した場合、経営指標は低い水準にある。

収益的収支比率、料金回収率が100%を大きく下回っているという事は、必要な資金を料金収入で確保できていないことを示している。不足する資金は、企業債の借入や、一般会計からの繰入により補填されている。

当市の簡易水道事業では、近年は大規模な更新事業が行われていないこともあり、企業債残高対給水収益比率、給水原価といった指標は類似団体と比較すれば、低く抑えられている。しかし、経営の健全性という観点からは早急に改善が必要な状況である。

また、有収率は良好であり、漏水等の影響が少なく、施設利用率は類似団体と比べ低く、施設に余裕があることを示している。しかし、今後は給水人口の減少に伴い、施設利用率は現在よりもさらに低下していくことが予想されるため、将来的には規模の縮小や上水道との統合を視野に入れた施設の更新計画が必要である。

2. 老朽化の状況について

当市の管路は漏水等の影響が少なく、有収率が高いことからわかるように、老朽化の状況は深刻なものではない。そのため、管路更新率は類似団体と比較して低い傾向にある。

また、機械・設備等についても適宜更新を行っており、簡易水道施設全体としても老朽化については深刻な状況ではない。

全体総括

簡易水道事業は、上水道事業と比較すれば料金収入のみで経営の健全性を確保することは困難であるため、一般会計からの繰入に大きく依存している。これは、水道利用者以外からも負担を強いことになり望ましくなく、改善が必要な状況である。

また、人口が減少し施設利用率も減少していきことが予想される中では、規模の縮小や施設の統合も考えていかなければならない。

これらを解決するには上水道事業との統合をすることによって、経営基盤の強化を図り、効率的な施設利用を行うことである。

しかし、安易な統合では水道料金を値上げせざるえないため、財源確保を慎重に行った上で、今後の事業計画を策定する必要がある。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。